

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	建築士資格対策	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	90時間
単位数	6単位		授業形態	講義			
教科書/教材	詳解 2 級建築士過去 7 年問題集 ' 1 9 年版 成美堂出版						
担当教員情報							
担当教員	井上英勝			実務経験の有無・職種	有・施工管理		
学習目的							
近年の建設業界における様々な偽装問題や施工不良における社会的影響、さらに地域や都市の開発や整備、リノベーションの必要性を鑑み、優秀なる建築技術者確保のために建築士のニーズは高まっている。建築士資格対策は卒業後の二級建築士試験の合格、並びに合格に準ずる知識の習得を学習目的とする。さらには、一級建築士の学科試験、木造建築士の学科試験、建築積算士試験等の合格、並びに合格に準ずる知識の習得、及び、建築計画、建築法規、構造力学、建築施工分野なども実務レベルで理解し、卒業後の設計業務、施工管理業務に生かせる知識の習得も学習目的とする。							
到達目標							
卒業後の二級建築士学科試験の合格のために次の3点を到達目標とする。 ① 二級建築士学科試験過去問題3回、繰り返して学習し、内容を理解する。 ② 過去問題で90点以上取得することができる。 ③ 直前模擬試験で満点を取得することができる。							
教育方法等							
授業概要	過去問題、各種教科書を参照し、年度ごとに重点事項を確認しながら理解を深める。過去問題や直前模擬試験に挑戦、不正解問題の把握、認識の修正を行い、正しい知識を蓄積させる。適宜、質問、疑問点に対応し、不明な知識がないように進める。学習履歴を常に把握できるように、自己管理シートを活用する。						
注意点	問題集を毎回持参すること。特に自己採点を徹底し、不得意分野を確認し常に復習に励む事。授業時間数の4分の3以上、出席しない者は期末試験を受験することができない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	期末テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	各種テスト	60%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス、建築士試験の説明			二級建築士資格、二級建築士学科試験内容、試験対策を理解する。			
2回	過去問題（学科Ⅰ建築計画）解説①			平成27年度（学科Ⅰ建築計画）過去問の内容について理解する。			
3回	過去問題（学科Ⅱ建築法規）解説①			平成27年度（学科Ⅱ建築法規）過去問の内容について理解する。			
4回	過去問題（学科Ⅲ構造力学）解説①			平成27年度（学科Ⅲ構造力学）過去問の内容について理解する。			
5回	過去問題（学科Ⅳ建築施工）解説①			平成27年度（学科Ⅳ建築施工）過去問の内容について理解する。			
6回	過去問題（学科Ⅰ建築計画）解説②			平成28年度（学科Ⅰ建築計画）過去問の内容について理解する。			
7回	過去問題（学科Ⅱ建築法規）解説②			平成28年度（学科Ⅱ建築法規）過去問の内容について理解する。			
8回	過去問題（学科Ⅲ構造力学）解説②			平成28年度（学科Ⅲ構造力学）過去問の内容について理解する。			
9回	過去問題（学科Ⅳ建築施工）解説②			平成28年度（学科Ⅳ建築施工）過去問の内容について理解する。			
10回	過去問題（学科Ⅰ建築計画）解説③			平成29年度（学科Ⅰ建築計画）過去問の内容について理解する。			
11回	過去問題（学科Ⅱ建築法規）解説③			平成29年度（学科Ⅱ建築法規）過去問の内容について理解する。			
12回	過去問題（学科Ⅲ構造力学）解説③			平成29年度（学科Ⅲ構造力学）過去問の内容について理解する。			
13回	過去問題（学科Ⅳ建築施工）解説③			平成29年度（学科Ⅳ建築施工）過去問の内容について理解する。			
14回	直前模擬試験			直前模擬試験に挑戦し全問、正解できる。			
15回	建築士資格対策まとめ			理解の到達目標を確認し、本試験に向けての対策ができる。			